

第3章 評価の結果に対する対応方針

分科会の評価結果を受けて、国土技術政策総合研究所では以下のように対応する。

■平成26年度第4回国土技術政策総合研究所研究評価委員会分科会（第三部会）

・アジア国際フェリー輸送の拡大に対応した輸送円滑化方策に関する研究（事後評価）

評価結果を踏まえ、アジア国際フェリー輸送を通じた我が国の産業や港湾の国際競争力の強化により資するように、貨物流動モデルの予測モデルの向上などに努めるとともに、開発した貨物流動モデルや地域への経済効果などの評価ツールがより活用されるように、簡易プログラムの作成をはじめとして、その汎用性を高めるよう検討していきたい。

その他、震災時の復旧・復興における国際フェリーの活用や、アジア地域側の視点での輸送経路選択モデルの検討をはじめとする、ご指摘いただいた事項についても、主旨に十分留意して、今後の研究を進めて参りたい。

■平成26年度第5回国土技術政策総合研究所研究評価委員会分科会（第二部会）

・建築実務の円滑化に資する構造計算プログラムの技術基準に関する研究（事後評価）

評価結果を踏まえ、実務で利用される構造計算プログラムが適切に評価され、また設計で使用されるよう、今後の構造計算プログラムの行政上の扱い等についての本省の意向を踏まえて、関係機関と連携しつつ必要な検討を継続するとともに、結果を適宜公開することで広く成果の普及を図って参りたい。

その他、汎用性のあるモデル化の提案やその適用範囲の明確化など、ご指摘いただいた事項についても、主旨に十分留意して、今後の研究を進めて参りたい。

・再生可能エネルギーに着目した建築物への新技術導入に関する研究（事後評価）

評価結果を踏まえ、本研究の成果が有効活用されるよう、引き続き、本省、官庁営繕部、建築研究所、学識経験者等と連携して、地中熱や太陽光等の再生可能エネルギーの建築物における利活用方法について、現地での実証を踏まえながら、実用化及び普及につながるよう努めて参りたい。

また、技術の普及に向けたコスト縮減や地下水流動についての影響、効果などご指摘いただいた事項についても、現在進行中のプロジェクト研究「電力依存度低減に資する建築物の評価・設計技術の開発」などで検討を継続して参りたい。

・高齢者の安心居住に向けた新たな住まいの整備手法に関する研究（事後評価）

評価結果を踏まえ、市場において整備される高齢者住宅の水準の継続的なモニタリングを通じて、市場での失敗に至る原因追求等を行いつつ、高齢者のための良質な住まいの普及に向けた問題解決を進めて参りたい。

その他、入居者の個別性への対応とストックとして住宅に求められる普遍性との関係についての整理など、ご指摘いただいた事項についても、ご指摘の主旨に十分留意して、今後の研究を進めて参りたい。

・密集市街地における協調的建て替えルールの策定支援技術の開発（事後評価）

評価結果を踏まえ、「密集市街地における街区性能水準の簡易予測・評価プログラム」のインターフェイスの改良等による操作性向上や、「街区性能水準の予測・評価の手引き（素案）」の内容の更なる検討・充実を図りつつ、密集市街地整備の現場におけるこれら研究成果の実用化と普及に努めて参りたい。

その他、「協調的建て替えルール」等の用語について定義を明確にすること等、ご指摘いただいた事項についても、主旨に十分留意して、今後の研究を進めて参りたい。

・都市計画における戦略的土地利用マネジメントに向けた土地適性評価技術に関する研究（事後評価）

評価結果を踏まえ、各種の客観的なデータに基づいて適切に評価が行えるよう、今後とも本省、地方公共団体等と連携して、評価システムの精度、確度の向上を図るとともに、使いやすいユーザーインターフェイスを用意して、地方公共団体がインセンティブをもって評価が行えるシステムとなるよう改良を加えて参りたい。

その他、評価目的に沿って社会経済的要因、主体的な要因も加味して評価できるようにすること、よりリスクの小さい土地を選択していくインセンティブになるようなシステムとすることなど、ご指摘いただいた事項についても、ご指摘の主旨に十分留意して、今後の研究を進めて参りたい。

■平成 26 年度第 6 回国土技術政策総合研究所研究評価委員会分科会（第一部会）

・道路交通の常時観測データの収集、分析及び利活用の高度化に関する研究（事後評価）

評価結果を踏まえ、本研究成果を利用して得られる常時観測データの活用シーンを道路情報活用ビジョンとしてまとめるとともに、情報活用シーンを具体化するための研究計画策定を行い、プライオリティの高いものから「リーディングプロジェクト」を定めて取り組んで参りたい。

その他、将来的なデータ公開を見据え、ユーザー提供を前提とした場合に、どのような内容を、どのようなインターフェイスで提供していくか、データ公開への手順、方針に関する検討など、ご指摘いただいた事項についても、主旨に十分留意して、今後の研究を進めて参りたい。

・地域における資源・エネルギー循環拠点としての下水処理場の技術的ポテンシャルに関する研究（事後評価）

評価結果を踏まえ、本研究の成果として策定し国総研 HP で公表している下水汚泥の資源・エネルギー化技術に関する概略検討の手引き（案）及び検討補助ツールについて、本省が策定予定の指針へ反映するとともに、本省及び他の関係機関における自治体への情報提供の機会と連携して、一層の有効活用が図られるようアピールし、下水道事業者等に下水汚泥の資源・エネルギー化技術の導入効果がより良く理解され、技術の普及による社会的効果の発揮につながるよう努めて参りたい。

また、集約化や施設更新への対応の観点等も踏まえた手引き・補助ツールの継続的なフォローアップや今後のツールのバージョンアップなどご指摘いただいた事項についても、本省との連携を図りつつ、主旨に十分留意して、今後の研究を進めて参りたい。

・気候変動下での大規模水災害に対する施策群の設定・選択を支援する基盤技術の開発（事後評価）

評価結果を踏まえ、具体的な治水計画や都市計画に反映できるよう、今後とも本省水管理・国土保全局等と連携し研究成果の普及を図って参りたい。

その他、将来の社会経済シナリオの設定、都市構造条件を含めた分析、関係各部署等への情報提供などご指摘いただいた事項についても、主旨に十分留意して、今後の研究を進めて参りたい。